金沢星稜大学産学地域連携ポリシー

今、世界が目指すSDGsの実現に向けた取組みを、地域のさまざまなステークホルダーと連携して進めていくことは、「誠実にして社会に役立つ人間の育成」を建学の精神に掲げる本学が果たすべき重要なミッションのひとつです。本学は本ポリシーに基づき、SDGsすなわち持続可能な社会づくりに貢献する産学地域連携活動を積極的に進めていきます。

1. 基本方針

本学の研究および教育活動によって得られた知的リソース（シーズ）と地域・自治体、企業等の課題（ニーズ）を効果的にマッチングした産学地域連携活動を積極的に推進することにより、双方に価値を生み出す「価値共創」を目指します。

2. 幅広い地域社会への価値提供

本学が立地する石川県、金沢市にとどまらず幅広い地域の要請や特性を踏まえた産学地域連携活動を推進することで、地域課題の解決や地域社会の発展といった価値を提供します。

3. 共同研究・事業、受託研究・事業の推進

本学の研究および教育リソースを幅広く社会で活用するため、地域・自治体や企業等のニーズに基づいた共同研究・事業、受託研究・事業に積極的に取り組みます。また、それらの成果を積極的に情報発信していくことで、本学の社会的なブランド力を高めます。

4. 管理体制

本学に産学地域連携を推進するための組織をおき、本学と地域・自治体や企業等との連携が円滑に推進される体制を整えます。

5. 知的財産の活用・管理

本学と自治体・地域団体・企業等との組織同士の契約等による連携を基本とし、産学地域連携により知的財産が得られた場合はそれを適切に管理し有効活用していきます。

6. 人材育成

学生の教育に資するための産学地域連携を通じた多様な主体との協働により、多様性（ダイバーシティ）や社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）を理解し、社会の発展に貢献できる人材を輩出していきます。